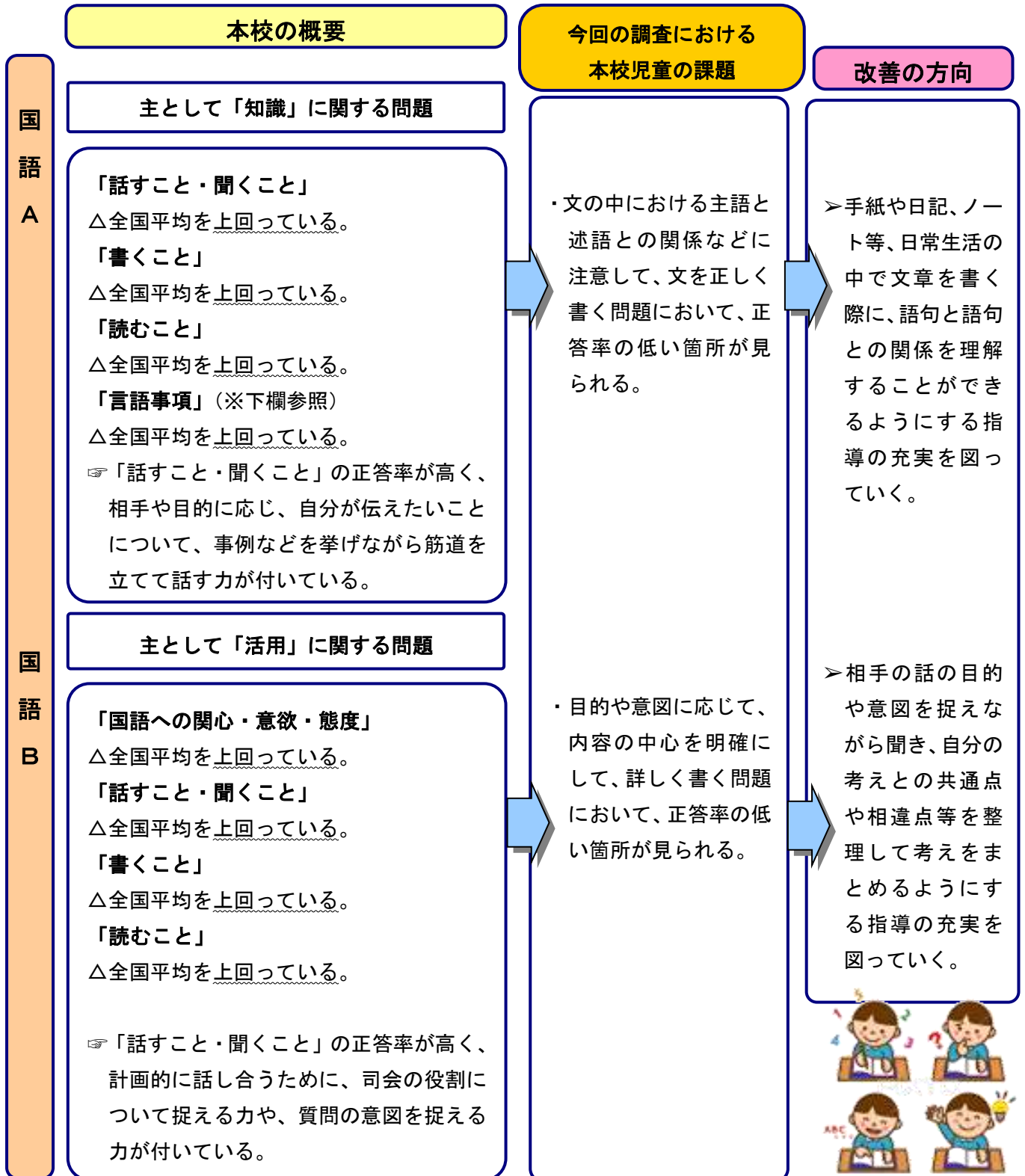


全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日に実施しました全国学力・学習状況調査（調査対象：6年生）につきまして、本校児童の調査結果の概要及び改善の方向がまとまりましたので、お知らせいたします。今後、本校児童の課題や改善の方向を基に、ご家庭と連携を図りながら指導を充実させてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



※「言語事項」→「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（言語についての知識・理解・技能）」

札幌市からの結果分析指針と
記号の意味



(△) 上回っている



(◇) やや上回っている

ほぼ同程度



(◆) やや下回っている



(▽) 下回っている

← 全国平均正答率

本校の概要

今回の調査における
本校児童の課題

改善の方向

算
数
A

主として「知識」に関する問題

「数と計算」
△全国平均を上回っ
ている。
「量と測定」
◇全国平均とほぼ同
程度であるが、やや
上回っている。
「図形」
△全国平均を上回っ
ている。
「数量関係」
△全国平均を上回っ
ている。

「数量や図形につい
ての技能」
△全国平均を上回っ
ている。
「数量や図形につい
ての知識・理解」
△全国平均を上回っ
ている。

・分度器を用いて
180°よりも
大きい角の大き
さを求める問題
や、百分率を求め
る問題において、
正答率の低い箇
所が見られる。

➢実測を通して、
量感を得るな
ど、図形につい
ての理解を深め
る活動の充実を
図っていく。
➢単位量を基にし
て数量を比較し
たり、図や式を
用いて表現し、
割合の概念をも
たせたりする活
動の充実を図っ
ていく。

算
数
B

主として「活用」に関する問題

「数と計算」
△全国平均を上回っ
ている。
「量と測定」
△全国平均を上回っ
ている。
「図形」
△全国平均を上回っ
ている。
「数量関係」
△全国平均を上回っ
ている。

「数学的な考え方」
△全国平均を上回っ
ている。
「数量や図形につい
ての知識・理解」
△全国平均を上回っ
ている。

・グラフを読み取っ
て適切に判断す
る問題や、メモな
どの情報とグラ
フを関連付けて
解釈する問題に
おいて、正答率の
低い箇所が見ら
れる。

➢グラフ、式、言
葉などを関連付
けて式の中の数
の意味を解釈
し、筋道を立て
て考えたり、説
明したりする指
導の充実を図っ
ていく。



本校の概要

今回の調査における
本校児童の課題

改善の方向

主として「知識」に関する問題

「物質」

△全国平均を上回っている。

「生命」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「地球」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することにおいて、正答率の低い箇所が見られる。

➤事物・現象をじっくりと観察したり、予想や考察を実験から得た具体的な数値と結び付けながら考えたりするなど、観察や実験を充実させる指導の構築を図っていく。

主として「活用」に関する問題

「物質」

△全国平均を上回っている。

「エネルギー」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「生命」

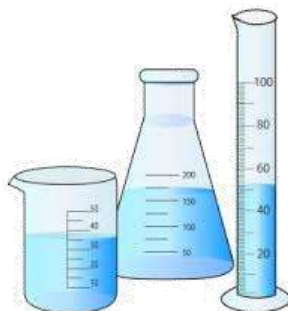
◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「地球」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

・骨と骨のつなぎ目についての、科学的な言葉や概念の理解において、正答率の低い箇所が見られる。

➤体のつくりと働きに着目させて多面的に調べ、つくりと働きを捉える指導の充実を図っていく。



学習に関わる内容については、「家で、学校の宿題をしている」「家で、学校の授業の予習・復習をしている」「家で、テスト勉強などの自学学習において、教科書を使いながら学習している」の項目が、全国平均と比べて大きく上回っており、日々の家庭学習に真面目に取り組んでいる児童が多いことが伺えます。本校児童の学力平均が全国平均を上回る結果につながっていることも、家庭学習がその要因の一つであると考えています。「調査問題の解答時間は十分だった（全教科で）」と答えた割合も、全国平均を大きく上回っていました。

一方、「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「算数（理科）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」「算数の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」「理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないかをふりかえって考えている」と意識している割合が、全国平均と比べて下回っているという結果が出ました。

そのため、子どもたちの意識を改善し、もっている学力を生かすためには、下記の3つの学びが大切であると考えます。

- ・ 将来の夢（自分のやりたいこと）をもち、学ぶことに関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組む「主体的な学び」（価値を見付け出す感性と力、好奇心・探究心）
- ・ いろいろな見方・考え方を働かせながら課題を見だし、情報を精査して考察したり、思いや考えを基に創造したりする「深い学び」（科学的に思考・吟味し活用する力）
- ・ 他者との対話、先哲の考え方を手がかりに考え、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」（文章や情報を正確に読み解き、対話する力）

多くの実体験を共有し、「分かった」「できた」という自力で問題解決していく感動を積み重ねて、学びの力を高めていきます。特に、「話す・聞く」能力が高い子どもが多いので、他者との対話によって見方を広げたり、考えを深めたりすることを期待しています。

生活に関わる内容については、「自分には良いところがあると思う」の項目が、全国平均よりも低いという結果が出ました。しかし、検査結果からも分かるように、実際は全国平均を上回る学力が身に付いているのですから、これは、自分の力に対して驕らず、謙虚に向き合う姿勢をもつ子どもや、更に高い目標をもっている子どもが多いということであるとも考えられます。

また、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある」「地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがある」と解答している割合も、全国平均と比べて下回っているという結果が出ておりました。しかしながら、「新聞を読んでいる」と回答した児童は全国平均を上回っており、社会の情勢・動向に関心を示していることが分かりましたので、授業や地域での様々な行事や取組の中で、地域の一員であるという自覚がもてる関わりを大切にし、地域や社会に目を向ける姿勢も育てていきます。

ご家庭においても、家庭学習の取組などで自主的な学習につなげていくことや、家庭と学校、地域社会が自分とつながっていると実感するような話題をもちかけることなどの関わりが大切であると考えています。大きな夢をもち、笑顔で学び、未来へはばたく子の育成への、ご理解とご協力をお願いいたします。

